

招 集 期 日	平成 3 0 年 1 1 月 2 1 日 (水)		会議の場所	学校給食センター
会議の時刻 及び宣告者	開会の時刻	午後 1 時 3 0 分	開 会 者	教 育 長
	閉会の時刻	午後 2 時 4 5 分	閉 会 者	教 育 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
秋 本 文 子 教 育 長	出 席	平 野 博 之 委 員	出 席	
柿沼拓弥教育長職務代理者	出 席	岩 崎 智 子 委 員	出 席	
高 瀬 賢 一 委 員	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説 明 の た め の 出 席 者	佐藤学校教育部長	赤坂生涯学習部長	須永教育総務課長	細村学校教育課長
	小島学校給食センター所長	岡田生涯学習課長	水野スポーツ振興課長	奥野図書館長兼郷土資料館長
書 記 名	教育総務課総務係 横山			
会議事件名	て ん 末			
開 会	教育長	11 月定例教育委員会を開会		
	教育長	<p>教育委員会の会議は公開が原則となっているが、人事に関する事件等について出席委員の 3 分の 2 以上の多数で議決したときは公開しないことができる。本日の日程で議案第 39 号については、議会の議決を得るべき議案のため非公開としてよろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p> <p>議案第 39 号を非公開とする。</p>		
日程第 1 前回会議録の承認	教育長	10 月定例教育委員会の会議録について諮った。		
	教育長	異議なしの声あり		
	教育長	前回会議録は、承認された旨宣した。		
	教育長	報告事項 1 について学校給食センター所長から説明を求めた。		

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項4 羽生学講座Ⅷ公開講演会の開催について</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>有する方とするが、申し出があった場合は市外への転居者も可とする。該当者は、11月11日現在で男315名、女294名、合計609名である。日程は、オープニングのビデオ上映、式典、記念行事の抽選会の後、中学校区ごとの記念撮影を行う。今年の記念品は、羽生市の地図柄クリアファイルと藍染のコースターを予定している。</p> <p>平成29年度に発掘調査報告書が刊行された茂手木遺跡での発掘調査により明らかにされた遺跡の性格について、報告書を取りまとめた担当者に解説いただき、受講者に埋蔵文化財保護への理解を広め、深めていただくことを目的とする。平成31年3月16日に羽生市民プラザにて開催予定である。講師は、公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団の滝澤誠氏に依頼する。募集人数は40名程度とし、広報はにゅうの誌面にて告知する。</p>
<p>報告事項5 平成30年度 羽生市人権教育研修会の結果について</p>	<p>生涯学習課長</p>	<p>毎年、羽生・行田・加須の3市持ち回りで開催している北埼玉地区人権フェスティバルと合わせて、10月13日に産業文化ホールにて開催した。主催は、北埼玉地区人権フェスティバル実行委員会、羽生市人権教育推進協議会、羽生市、羽生市教育委員会である。戦場カメラマンの渡部陽一氏に「家族の絆」というテーマで講演をいただき、参加者は796名であった。来場者のアンケートでは、人権問題について理解が深まったかとの問いに対し、回答の99%が大変深まった又は深まったとのことであった。関心をもっている人権問題は何か、との問いに対して多かった回答は、障がいのある人150票、子ども139票、高齢者114票、同和問題111票、女性問題99票等であった。人々の心の中には、いまだ差別意識が残っていて、その解消のためには教育と啓発を粘り強く推し進めていくことが必要だと考え、今後も引き続き人権の研修会を実施していきたい。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項6 第32回羽生市いきいき運動会(高齢者のつどい)の結果について</p>	生涯学習課長	<p>この運動会は各公民館の高齢者大学に参加しているそれぞれの地区の65歳以上の方を対象に毎年開催しているもので、今回も高齢者の心身の健康増進を図りお互いの交流を高めることを目的として、10月24日に羽生市体育館にて開催した。主催は羽生市教育委員会と羽生市公民館連絡協議会である。羽生市スポーツ推進委員によるムジナもん体操に始まり、ゲートインボール、スプーンレース、大玉送り等、計7種目が行われた。中央公民館から2チーム、他の8公民館からは1チームずつの計10チーム、計293名の参加があり、健康増進、参加者同士の交流を図ることができた。</p>
<p>報告事項7 高校生インストラクター講座「介護に役立てよう!!ハンドセラピー」の結果について</p>	生涯学習課長	<p>高校生の地域社会への積極的な参画意識の醸成を図ると共に、高校生が学生生活や部活動で培ったスキルを地域へ還元することで地域社会の活性化を図ることを目的として、10月27日に誠和福祉高等学校にて開催した。講師は同校の生徒6名で、内容は、自分の手のセルフケアや、お互いの手を優しくマッサージし合うことで、親密なコミュニケーションや、安心感、信頼感に繋がる効果が期待できる、ハンドセラピー教室を行った。参加者は8名であったが、受講者は講師の話に熱心に聴き、マッサージの指導を受けながら談笑している姿もあちこちに見られた。講師となった高校生は、話題を考えながら親身に対応し生き生きとした表情をしていた。</p>
<p>報告事項8 高校生インストラクター講座「お茶系女子のOMOTENASHI茶道教室」の結果について</p>	生涯学習課長	<p>11月3日に羽生第一高等学校にて開催した。講師は同校の茶道部生徒5名で、内容は、お茶をたて、茶菓子を提供するといった一連の作法を通して日本の伝統文化である茶道における、おもてなしの心に触れ親しんだ。参加者は小学生6名と大人1名の計7名だった。その他、保護者数名が見学した。講師となった生徒は、小学生の受講生に対して、面倒見良く熱心に指導をしていた。講座終了後の反省会では、人に教えることの難しさを実感したという感想もあったが、受講者全員に喜んでもらい、やりがいを感じたとの感想もあり、高校生達は皆、達成感を得た様子であった。</p>

会議事件名	て ん 末	
報告事項9 第14回羽生市フロアカーリング大会の開催について	教育長	報告事項9、10についてスポーツ振興課長から説明を求めた。
	スポーツ振興課長	だれもが、いつでも、どこでも、いつまでも、気軽に自由に楽しめるニュースポーツ「フロアカーリング」をとおして、生涯スポーツの推進・新興を図ることを趣旨とし、平成31年1月20日に開催を予定する。3名1組を1チームとし、午前中に予選リーグ戦、午後に決勝トーナメント戦を行う。フロアカーリング大会は年に2回行っており、6月に開催された大会は、日本フロアカーリング協会の公認の全国大会として市外からの参加も募集したが、今回の大会は市内在住・在勤・在学の方を対象とする。昨年度は96チーム361名の参加があった。今年度も楽しい大会にしたい。
報告事項10 第32回 羽生市民体育祭の結果について	スポーツ振興課長	10月21日に市民体育祭実行委員会を主管として開催した。各地区の体育振興会長、各地区からの推薦者、体育協会、スポーツ推進委員、自治会連合会の計79名の役員による実行委員会で準備を進めてきた。当日は158名の運営委員により運営がなされた。成績は、三田ヶ谷地区が4連覇となる優勝、準優勝は手子林地区、第3位は岩瀬地区であった。当日は天候に恵まれ、実行委員をはじめ、多くの役員の協力をいただき、無事に終了することができた。今回はいくつかの競技でルール変更があったが、特に問題なくスムーズに進行することができた。11月5日に実行委員会による反省会があり、競技運営面でいただいた意見を踏まえ、今後より一層の充実を図りたい。
報告事項11 リサイクルフェアの実施について	教育長	報告事項11から14について、図書館長兼郷土資料館長に説明を求めた。
	図書館長兼郷土資料館長	図書館で不要となり除籍された本や市民から提供された本を再度有効利用するため、希望者に無償譲渡するものである。期間は、平成31年1月10日から13日までとし、1月10日は市の公共施

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項12 蔵書点検のための特別整理休館について</p>	<p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>設を対象、以降は羽生市民を対象として郷土資料館の展示室で実施する。1人10冊まで持ち帰ることができる。広報はにゅう及びホームページで周知する。</p> <p>平成31年1月28日から2月1日までの期間で、図書館の蔵書全てを対象として点検を実施するものである。作業内容は、蔵書の確認、蔵書データとの照合及び不明図書データの処理、書架整理および書架配置の見直し等である。</p>
<p>報告事項13 「親子で楽しむ絵本とわらべうた講座及びボランティア養成講座」の結果について</p>	<p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>絵本や伝承あそびのわらべうたを通して、幼い子どもたちと親子の触れ合いの場を提供すること及び「ちいさなおはなし会」に参加するボランティアを育成することを目的として、10月15日に市立図書館にて開催した。地域文庫「にこにこ文庫」主宰の吉田優子氏を講師として招き、受講人数は33名であった。名札を衣服につけ、講師が名前呼びかけていたので子ども達も打ち解けて和やかな雰囲気になった。講座終了後30分程度、講師から絵本やわらべうたについて指導を受けて、ボランティアからは今後の「ちいさなおはなし会」に活かしていきたいという声を聞くことができた。</p>
<p>報告事項14 ふるさと講座「河畔砂丘を探る！桑崎砂丘と中川低地の河畔砂丘郡」の結果について</p>	<p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>9月29日に市立図書館にて開催した。埼玉県文化財保護審議委員会委員の本間岳史氏を講師として、利根川の河川沿いに転々と河畔砂丘が残っているが、なぜ中川沿いに河畔砂丘が形成されたのかを探った。羽生市だけでなく、他の市の河畔砂丘群についても説明があった。受講者数は定員30名としていたが、36名の受講となった。平成28年度に県指定天然記念物に指定された桑崎砂丘をテーマとしたことにより関心が高く、定員を超える多くの方が受講した。今年度のふるさと講座は講演形式で行ったが、昨年度までの古文書講座のような体験形式を含め、今後もより多くの方に参加いただけるような講座を工夫して考えていきたい。</p>

会議事件名	て ん 末	
	教育長	報告事項に関して質問・意見を求めた。
	柿沼委員	市民体育祭について、当日は天候に恵まれ素晴らしい体育祭となって良かった。地域の反省会に参加したが、皆が一丸となって頑張っている姿が見られ、地域の交流の素晴らしさを感じた。反省会等で得られた意見を踏まえ、来年度もより良いものにしていただきたい。
	スポーツ振興課長	地域のコミュニティーを育むことはとても重要と考えており、各地区の体育祭を含めて、このような行事で地域がひとつになることは意味深いものである。一番は参加した方に楽しんでいただくことであると思うので、これからもよく話し合い、皆が楽しめる市民体育祭となるよう取組を続けていきたい。
	高瀬委員	郷土かるた大会のエントリー数はどのくらいか。また、市内全校から申し込みがあるのか。
	生涯学習課長	団体の部、個人の部とも16組ずつの参加である。主催が子ども会育成会であるが、子ども会育成会の有無に関わらず市内全小学校に募集している。実際応募があったのは、新郷第二小学校、井泉小学校、手子林小学校、三田ヶ谷小学校、そして子ども会育成会がなく一般参加の須影小学校の全5校であった。
	岩崎委員	ベルギー王国料理の学校給食について、掲載写真を見て楽しそうな様子が伝わってきた。給食を残さず食べることは、作る人や保護者にとって、一番嬉しいことである。工夫した献立を提供していただけることで残菜率も減ると思うので、今後も期待したい。また、子ども達に給食を作っている様子を更に周知していただきたいと思った。
	給食センター所長	当日は学校行事の関係で西中学校だけ提供できなかったのが残念であった。訪問した村君小学校では、全校児童と楽しみを共有することができた。完食であったことについては、調理員達も感謝しており、これからも心を込めて給食を作っていきたいと言っ

会議事件名	て ん 末	
	平野委員	<p>ていた。また、学校訪問では給食センターの調理の様子を写真を使って説明したが、今後は映像でもPRしていきたい。また、残った食材が給食センターに戻ってきてどのように処分されるのか、食器等の洗浄の様子等の映像の作成も考えている。</p>
	図書館長兼郷土資料館長	<p>図書館のリサイクルフェアでは、提供する本の対象はどのようなもので冊数はどのくらいか。また、その後の補充についての基準を伺いたい。</p>
	教育長	<p>例年、図書館から除籍された本が約 5000 冊、市民から提供された本が約 1000 冊、全体で 6,000 冊から 7,000 冊がリサイクルフェアの対象となっている。昨年度希望者に譲渡したのは 3,619 冊であった。残りは業者へ処分を委託する。本の除籍の基準は、古いもの、情報が古く使えないもの、損傷の激しいもの、多すぎて書庫に収められなくなったものとし、司書が選んで除籍している。補充は年間で一般書 3500 冊、児童書 1500 冊、計 5,000 冊を目安に、予算の範囲で司書と職員が蔵書構成を考慮して選び、購入している。</p>
	平野委員	<p>リサイクルフェアでは、来場者が本をよく吟味し、喜んで持って帰っている姿が見られ、この行事の良さを感じている。</p>
	平野委員	<p>市民から提供される本はどこに持ち寄るのか。</p>
	図書館長兼郷土資料館長	<p>年間を通して、市民から図書館に、いらなくなった本があるのだが引き取ってくれないかとの問い合わせがある。図書館ではその本の状態により、配架もしくはリサイクルフェアでの提供に活用させていただいている。ただし、辞典、雑誌、漫画については、受け取っていない。</p>
	柿沼委員	<p>高校生インストラクター講座について、高校生が持っている知識や技術を借りて講座を行うことは、とても良いと思う。しかし、せっかくの良い事業であるのに参加人数が少なく、もったいない。参加者数を増やす手立てはあるか。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第3 協議事項1 第2期羽生市教育振興基本計画(案)をパブリック・コメントに付することについて</p>	生涯学習課長	<p>周知不足であったかも知れないし、一般の方が参加しづらいテーマだったのかもしれないと思う。今後、多くの方が参加しやすい講座内容を学校と協議し、あらゆる手段で周知していきたい。</p>
	教育長	<p>今回は、商工まつりと開催日が重なっていたので、日時の設定の検討も必要と考えている。</p>
	柿沼委員	<p>P T A連合会にも声をかけて周知を図るのはいかがか。</p>
	岩崎委員	<p>誠和福祉高校は、羽生市の福祉健康まつりにも参加していて、高齢者の肩を揉んだり、簡単なマッサージをしたりしている。このようなイベントと併せて、高校生インストラクター講座をやってみてはどうか。</p>
	生涯学習課長	<p>ご意見を参考に色々と検討してみたいと思う。</p>
	教育長	<p>報告事項については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>協議事項1について教育総務課長から説明を求めた</p>
	教育総務課長	<p>教育基本法の規定に基づき国や県の同様の計画を参考にして定める羽生市の教育の振興に関する計画である。また、羽生市総合振興計画を踏まえて定める教育行政分野の計画である。現行の計画は、平成26年度から平成30年度までの5年間の計画であり、本年度計画期間が終了することから、平成31年度の2019年度から2023年度までの5年間を計画期間とする第2期基本計画の策定を進めている。</p> <p>この度、素案がまとまったので市民に意見を伺うパブリック・コメントを行うにあたり協議をするものである。この案は、識見者・小中学校の代表者・P T Aの代表者・関係団体の代表者と教</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>育委員会の幹部職員、総勢 13 名の委員で構成される教育振興基本計画策定会議と教育委員会事務局職員による作業部会で作成したものである。</p> <p>計画の概要を説明する。第 1 章 総論の 4 ページから 9 ページまでは、第 2 期計画において更なる教育の振興を図るため、第 1 期計画の成果と課題をまとめたものである。10、11 ページは、羽生市の目指す教育の姿として、現行の羽生市教育委員会グランドデザインを踏まえたうえで、基本理念・基本方針・基本目標を掲げている。基本理念は「豊かな学びで 夢と希望が輝く 羽生の教育」とし、この基本理念を踏まえ『知・徳・体・コミュニケーション能力』を地域とともに育みます。」を基本方針としている。さらに、基本理念及び基本方針を受け、今後 5 年間に取り組む 5 つの基本目標を掲げている。基本目標Ⅰ「学校力」信頼される学校づくりの推進、基本目標Ⅱ「学力」確かな学力を育む特色ある教育の推進、基本目標Ⅲ「豊かな心と健やかな体」道徳・人権教育の推進と食育・健康教育の充実、基本目標Ⅳ「地域力」生涯学習の推進と文化活動の活性化、基本目標Ⅴ「スポーツ」生涯スポーツの振興、としている。</p> <p>第 2 章 施策の展開においては、これらの基本目標を実現するために、今後 5 年間で行う 15 の施策と 37 の主な取組を設定し、これに基づき事業を進めていくこととなる。16 ページ以降は、それぞれの施策ごとに現状と課題、施策の方向性、主な取組、目標指標(数値目標)を示している。50、51 ページは、目標指標をまとめて掲載してある。また、施策によっては数値目標を掲げることが難しいものもあるため、そちらにおいては数値目標を掲げていない。</p> <p>49 ページからの第 3 章 計画の推進では、今後 5 年間どのように計画を進めていくかを記している。羽生市のまちづくりの基本理念である「市民参加・市民参画・市民協働」により、行政だけでなく市民も含め皆で教育の振興を進めていくという内容である。また、行政内部においても羽生市総合教育会議などにより市長部局との協議・調整を行い、教育施策の方向性を共有し、連携し取り組んでいく。計画の点検・評価については、毎年度行っている事務の管理執行状況についての点検評価を今後も続け、改善を図っていくこととする。その内容は、これまで通り公表し市民</p>

会議事件名	て ん 末	
		<p>からご意見をいただければと考える。</p> <p>パブリック・コメントとは、市の重要な計画を発表するにあたり、その案を公表し市民から広く意見を求め、その意見を考慮するものである。第2期羽生市教育振興基本計画(案)もその対象となるため、パブリック・コメントを実施する。実施時期は、来年1月初旬から1ヵ月間を計画している。市の広報やホームページに掲載する他、公民館などの公共施設に計画案を置き、広く市民から意見をいただくものである。</p> <p>教育長 協議事項1について、質問・意見を求めた。</p> <p>柿沼委員 基本目標Ⅱ「学力」において、学力学習調査の正答率向上は、高い目標設定になっていると思われるが、達成の見込みについてはどのようなものか。</p> <p>教育総務課長 努力が必要だが、教育委員会と学校との協力により、可能であると考えている。</p> <p>高瀬委員 第1期計画と第2期計画案とで目標値が違うことになったのはどうしてか。</p> <p>教育総務課長 第1期の計画を振り返った際に、目標に沿った数値で内容を精査し、達成可能かつ市民に分かりやすい指標を掲げるべきであるとの意見を策定会議等でいただいた。これを受けて、人数や件数などの単純な数値でなく、満足度や効果が表せるような数値を掲げたためである。</p> <p>教育長 協議事項1については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p> <p>教育長 協議事項1は、承認された旨宣した。</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>協議事項2 第2次羽生市図書館 運営基本計画(案)を パブリック・コメント に付することについて</p>	<p>教育長</p> <p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>協議事項2について図書館長兼郷土資料館長に説明を求めた。</p> <p>図書館法の規定によつ文部科学大臣が定める望ましい図書館の基準として、事業の基本的運営方針を策定し公表することが求められている。これにより、第1次計画を策定し、平成26年度から平成30年度まで運営してきた。計画期間が今年度満了となるため、第1次計画で設定した目標数値の進捗状況、利用者アンケートの回答等を参考にしながら第2次計画を策定しようとするものである。</p> <p>本計画は、第6次羽生市総合振興計画や第2期羽生市教育振興基本計画等の本市計画と相互に補完しあう計画として位置づけられるものである。計画の期間は、2019年度から2023年度までの5ヶ年である。</p> <p>計画策定の参考となる図書館利用者アンケートの結果については、21ページから27ページに概要を掲載している。アンケート実施期間は平成30年5月19日から6月16までの29日間で、回答件数は956件であった。回答者の傾向は、年齢60歳以上が約36%、女性が約6割、市内居住者が約9割を占めている。アンケートの回答内容は、利用状況については、「月に数回」と回答した人が7割以上であった。図書館に対する満足度は、「満足」「概ね満足」「普通」との回答が9割以上となった。図書館に対する要望は、一般資料や図書資料の充実を求める方が多かった。</p> <p>3ページから13ページまでは、図書館の事業について12項目に分け、第1次計画の目標数値と進捗状況等から現状と課題を把握し今後の取り組みを検討し、主な施策事業として記載したものである。</p> <p>14ページは、第1次計画の進捗状況と第2次計画の目標値の設定である。第1次計画は、30年度末までが計画期間であるため、平成29年度末の数字を記載しているが、目標数値を達成している項目と達成していない項目がある。このことを踏まえて、新たに第2次計画の目標数値を設定した。対象の数値は、毎年1%ずつ増やしていこうと考えている。</p> <p>まとめとして、図書館は開館32年を経過し、より多くの市民に活用され親しまれてきたが、近年、施設の老朽化や社会状況の変</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第4 議案第39号 議会の議決を経るべき議案について</p>	教育長	<p>化、市民意識の変化に伴い、図書館においても利用者との価値観の共有が強く求められている。このような状況に的確に対応し、市民文化の健全な発展と市民生活の向上に寄与するために、本計画を実施していくことである。</p> <p>パブリック・コメントの実施については、第2期教育振興基本計画と同様に進めて行く予定である。</p> <p>協議事項2について、質問・意見を求めた。</p> <p>特になし</p>
	教育長	<p>協議事項2については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p>
	教育長	<p>協議事項2は、承認された旨宣した。</p>
	教育長	<p>議案第39号は、会議を非公開とする。傍聴人はあるか。</p>
	教育総務課長	<p>傍聴人はいない。</p>
	教育長	<p>議案第39号について、教育総務課長から説明を求めた。</p>
	教育総務課長	<p>生涯学習課分のムジナモ保護増殖委託の債務負担行為を、平成30年度教育費補正予算として12月定例市議会に上程する案である。債務負担行為とは、支払うことが決まっている支出について、その額や時期を現在の予算で明確にし、将来の負担に備えようというものである。期間は平成31年度、限度額は150万円である。埼玉大学にムジナモの調査研究を委託しているが、4月からの業務を円滑に実施するために準備が必要であるため、所要の措置を講ずるものである。</p>

会議事件名	て ん 末	
議案第40号 羽生市立小・中学校 におけるハラスメン トの防止等に関する 要綱	教育長	議案第39号について、質問・意見を求めた。 特になし
	教育長	議案第39号については、よろしいか。 異議なしの声あり
	教育長	議案第39号は、可決された旨宣した。 これより会議を公開とする。
	教育長	議案第40号について、学校教育課長から説明を求めた。
	学校教育課長	今まで、セクシャルハラスメント、パワーハラスメントなど、それぞれ個別のハラスメントに関する要綱はあったが、今後ハラスメントの種類は増えることが予想されるので、これらを一つにまとめ今後増えるであろう様々なハラスメントに対応可能となる要綱を策定することについて議決を求めるものである。
	教育長	議案第40号について、質問・意見を求めた。 特になし
	教育長	議案第40号については、よろしいか。 異議なしの声あり
	教育長	議案第40号は、可決された旨宣した。 議案第41号について、学校教育課長から説明を求めた。

会議事件名	て ん 末	
<p>議案第41号 平成30年度学校医の 委嘱について</p>	<p>学校教育課長</p>	<p>村君小学校の学校医から退任の申し出があったため、後任として羽生市医師会から推薦があった対象者を委嘱するものである。任期は前任者の残任期間とする。</p>
	<p>教育長</p>	<p>議案第41号について、質問・意見を求めた。 特になし</p>
	<p>教育長</p>	<p>議案第41号については、よろしいか。 異議なしの声あり</p>
	<p>教育長</p>	<p>議案第41号は、可決された旨宣した。</p>
	<p>教育長</p>	<p>議案第42号については、生涯学習課長の一身上に関わる案件であるため、生涯学習課長の退室を求めた。 生涯学習課長 退室</p>
	<p>教育長</p>	<p>議案第42号について、生涯学習部長から説明を求めた。</p>
<p>議案第42号 羽生市公民館館長の 任命について</p>	<p>生涯学習部長</p>	<p>須影公民館館長より辞任願が提出され、欠員が生じるため、対象者を任命するものである。まず、前任者の退任日の翌日、11月22日から12月31日までを岡田生涯学習課長が兼任する。その後、残任期間となる2019年1月1日から2020年3月31日までの期間について、後任者を任命する。</p>
	<p>教育長</p>	<p>議案第42号について、質問・意見を求めた。</p>

会議事件名	て ん 末	
	<p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育総務課長</p> <p>教育長</p>	<p>特になし</p> <p>議案第 42 号については、よろしいか。</p> <p>異議なしの声あり</p> <p>議案第 42 号は、可決された旨宣した。 生涯学習課長の入室を許可する。</p> <p>生涯学習課長 入室</p> <p>次回教育委員会日程について、事務局より説明の旨。</p> <p>12 月定例教育委員会は、12 月 19 日 午後 1 時 30 分より、教育 委員室にて開催する。</p> <p>閉会を宣した。</p> <p>教育長 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>書 記 _____</p>